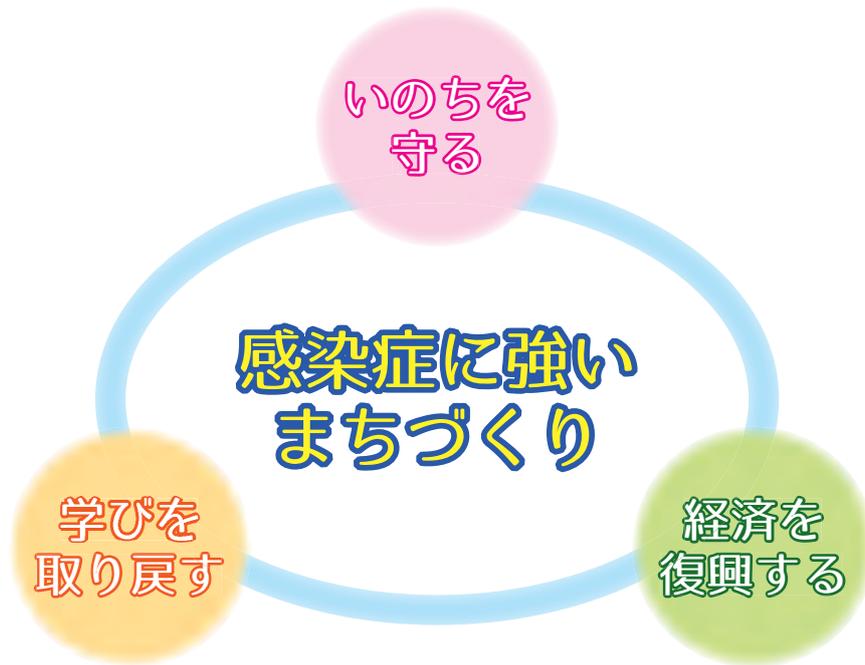


特集

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用による

アフターコロナ矢板創生戦略



今回、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、本市の経済は、過去に例がないほど大幅に落ち込んでしまいました。このような厳しい「染後」の今、本市は感染者ゼロを継続するとともに疲弊した経済を復興していかなくてはなりません。

本市では、国が創設した「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用するなどし、今回の危機的状況を本市の社会構造を見直す機会と捉え、「未来志向」の取り組みを推進することで、感染症に強いまちづくりと矢板市における地方創生の実現を図ります。

今号では、アフターコロナ矢板創生戦略の基本方針として掲げた「いのちを守る」「学びを取り戻す」「経済を復興する」の3つの柱の主要事業についてご紹介します。

いのちを守る

日頃からの感染症予防

有事の際の体制整備

衛生用品整備事業 (993万円)

感染症発生時、地域の医療機関や介護施設などに配布する防護具、マスクなどを購入します。

施設整備補助事業 (300万円)

医療機関において設置する簡易な感染症対策施設の導入に要する経費の一部を助成します。

オンライン診療整備補助事業 (450万円)

医療機関におけるオンライン診療システムの導入に要する経費の一部を助成します。

防災活動支援事業 (182万円)

災害・感染症発生時に指定避難所や各行政区に配布するマスクなどの衛生用品を購入し、地域ぐるみで対策にあたるよう支援します。

簡易陰圧設備整備事業 (756万円)

感染症発生時、緊急的に設置するための陰圧式エアータンクおよび空調一式を購入し、感染症対策のほか、自然災害時の救急医療の体制充実を図ります。



学びを取り戻す

家庭学習の一層の強化

子育て世帯や困窮学生支援

小中学校情報機器整備事業 【国庫補助事業分】 (2億8683万円)

文部科学省「GIGAスクール構想」に係る補助事業を活用し、小中学校の児童生徒全員にタブレット端末を配備するとともに、学校ネットワーク環境を整備します。

小中学校情報機器整備事業 【地方創生臨時交付金分】 (1,270万円)

左記の国庫補助事業の対象外と授業支援のソフトウェアなどを購入します。



募集 矢板市育英会 奨学生追加募集期間延長

(公財) 矢板市育英会が、新型コロナウイルス感染症拡大に係る影響などで家計が急変した学生・生徒に対し、奨学金を給付または貸与をします。
出願期間 / 8月31日(月)まで
資格 / 市内に住所を有する方のお子さんなどで、次の条件に該当し、ほかに奨学金を借りていない方
●健全な心を有し、学業に優れながら経済的理由で就学が困難と認められる方
●高等学校・高等専門学校・専修学校・短期大学・大学・大学院に在学している方
申請・問い合わせ / 矢板市育英会事務局(教育総務課)
☎(43)6217

【学資の給付(給付額・採用予定人数)】
①高等専門学校第4・5学年、専修学校・短期大学・大学・大学院に在学する奨学生⇒一時金200,000円(4人)
※貸与型奨学金と併用することができます。
【学資の貸与(貸与額・採用予定人数)】
①高等学校、高等専門学校第1～3学年に在学する奨学生⇒月額15,000円(若干名)
②高等専門学校第4・5学年、専修学校・短期大学・大学・大学院に在学する奨学生⇒月額30,000円(若干名)
貸与期間 / 採用決定月から在学する学校の正規の修了月まで。
※ほかの貸与型奨学金との併用はできません。



経済を復興する

中小・小規模事業者の事業継続を支援

「新たな生活様式」に即した経済活動を促進

消費喚起

募集 事業継続給付金(3,000万円)

企業を応援

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上げが減少した市内事業者に対して、事業の継続および再起の糧となるよう支援することを目的に給付金を交付します。

対象 / 市内において事業を営む中小企業者、小規模企業者、個人事業主
※医療法人、社会福祉法人、NPO法人など会社以外の法人などは、矢板市商工会会員に限る

要件 /
・令和2年1月～12月のいずれかの月の売上げが、前年同月比で20%以上50%未満減少していること。
・国の持続化給付金に該当しないこと。
金額 / 一律10万円 * 1回のみ
申請期間 / 令和3年1月15日(金)まで
申請・問い合わせ / 商工観光課 ☎(43)6211

企業を応援

新規業態開拓支援補助事業 (400万円)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、事業活動に影響があった事業者に対し、収束後に備えた新規業態※を始めるために要する経費の一部に対し、補助金を交付します。

※新規業態：新たな営業活動のこと。例えば、飲食業の方が新たにデリバリーを開始することを言います。飲食業の方が新たに農業や加工業を行う場合は「新規事業」となるため対象外になります。

家庭、飲食店を応援

テイクアウトクーポン券発行事業 (1,236万円)

外出自粛などで来店客の減少による経営悪化が懸念される飲食業に対しての経済支援と顧客の来店機会の創出や店舗内での密を避けることを目的に、テイクアウトに特化したクーポン券を5・6月に配布。7月には、第3弾として店内飲食にも使えるクーポン券を配布します。

子育て世帯を応援

子育て応援券発行事業 (4,040万円)

外出自粛などにより支出の増えた子育て世帯の家計の応援と、消費を呼び戻し地域経済を活性化するため、市内170の店舗で使うことができる子育て応援券を対象者に郵送します。
対象 / 令和2年3月31日現在で中学3年生以下
発行額 / 1人10,000円相当
使用期間 / 7月1日～令和3年1月31日

子育て世帯、観光業者を応援

矢板の魅力再発見！ 市内体験レビュー事業 (350万円)

市内の子育て世帯を対象に、地元の体験型観光の利用に要する経費の一部を支援します。参加した市民自らが地域の魅力を再発見し、SNSで発信することで、市内外からの誘客の促進を行います。また、サービス提供者は、参加者のレビューに基づき、サービスの検証・改善を行うことでさらなるサービスの磨き上げを行えるよう支援します。

県内初

クラウドファンディング型ふるさと納税実施中！

市では、県内の自治体で初めてとなる新型コロナウイルス感染症対策における、クラウドファンディング型ふるさと納税を実施しています。3つの柱に係る各種事業に充てる資金調達を行いふるさと矢板を支えるため、皆さまや市外に住むご家族などからのご支援をお願いします。
なお、寄附金のうち2,000円を超える分については、所得税、住民税控除の対象となります。

募集期間 / 8月18日(火)まで
目標寄附金額 / 300万円
そのほか / 通常のふるさと納税では、市民からの寄附は受け付けていませんが、今回はクラウドファンディング型であり、返礼品の提供はないことから、市民の方も申し込みいただけます。
問い合わせ / 総合政策課 ☎(43)1112



詳しくはこちら